

## 第2回 NIHU現代中国地域研究プログラム主催 代中国研究コロキウム

「中国における社会調査:デザインから解析まで」

早稲田大学19号館 3階309室

20080927

巖善平(桃山学院大)

1

## 主な農村調査の回顧

- 修士論文を書くために、1987年1-2月に初めて農家アンケート調査を実施した。その成果は1988年11月の『アジア経済』に発表された。200戸余りの農家調査だが、日本ではおそらくアンケート調査を用いた最初の研究成果だ。
- 1988年夏季、上海市金山県で10日間ほどの農村調査を行った。農民、幹部、企業経営者から様々なことについてヒアリングし、実地調査のイロハをはじめて実践した。
- 定職に就いてから、沢山のプロジェクトに参加し、または自らが調査を組織し、数多くの農家調査、企業調査等を実施した。ここ数年、人口移動に関するアンケート調査(農村と都市の両方で)を継続中だ。

20080927

巖善平(桃山学院大)

2

## 農村調査の心得

- 有力な共同研究者を持つことは現地調査の出発点だ。時間をかけて互いに信頼できるような人脈を作る。
- 事前準備:対象地域の社会経済状況について、地方政府の公式ページをチェックし、統計資料、公報等を集める。
- ヒアリング:県・郷鎮・村各レベルの関係部門の担当者に対して、聞き取り調査を行う。事前に集めた情報の補完・確認に重点を置く。
- 村を訪問し、農家から様々な話を聞く。家族構成、教育、就業、生産と消費、等等。雑談の中から意外な情報を得る場合が多い。
- 掲示板の告示資料、標語等を写真に撮る。
- 都合のよい事実と不都合な真実をどう取舍選択するか。主観的な判断を排し、見聞を小まめに記録する。
- 現地調査からの情報はデータ分析の結果解釈にとって重要な意味を持つ。

## アンケート調査の必要性和 実施時の手順

- 統計年鑑はじめ、様々な資料集から豊富な集計データが簡単に利用できる。しかし、それだけでは学術論文を書くことが難しい。これは世界共通の現象となっている。
- 社会科学の殆どの分野でマイクロデータを用いた研究が主流となっている。米国、日本等では政府の行う大標本調査の個票データを利用して緻密な計量分析を行う研究成果が多い(たとえば、労働経済学)。
- 個票データの持つ利点:分析の目的に応じて変数間の関係を自由自在に検証することができる。客観的な数量データだけでなく、主観的な意識の把握も可能である。
- アンケート調査の手順:調査項目の設計、調査対象の抽出、調査の実施、データの入力・クリーニング・集計・解析。ある程度の事前学習が必要だが、経験の積み重ねは重要だ。

# 情報収集

## Web情報の活用

- 中国語:中国知網・雑誌、新聞等(有料)  
<http://www.cnki.net/index.htm>  
香港中文大学・中国研究服務中心(無料)  
<http://www.usc.cuhk.edu.hk/wk.asp>
- 英語:SSRN(Social Science Research Network 無料、有料) <http://www.ssrn.com/>
- 日本語:タイトルの検索は整備されているものの、電子文献(pdfファイル)の利用は限られる。『アジア研究』、『アジア経済』、『日本労働研究雑誌』などあり。

# 共同研究のあるべき姿

- 問題意識を共有しているか? 調査項目の設計と調査実施。
- 所得分配に関する国際共同研究(社会科学院中心)
- 農村労働移動研究に対するフォード財団の貢献:1996年、2000年の「中国農村労働力移動国際フォーラム・北京」
- 日中の国際共同研究(形式、目的、成果):名ばかりの共同研究が目立つ。「研究費が少ない、共同研究者が実際には調査実施の請負者でしかない、研究成果の中国へのフィードバックがない=情報収集だけに終わっている」という中国側メンバーの不満はよく聞かされる。データの共同開発が不十分。
- 日本の中国研究に投入される費用は決して少なくない。残念ながら、研究成果の社会的役割は大きくはない。対外的も対内的にもそういえそうだ。英語圏ではかつての状況と異なり、日本語の文献をまったく触れなくても構わない時代になっている。国内の世論形成にも中国研究のプロパーによる発信が少ない。

## 研究成果の公表方法

- 自然科学と異なり、研究成果の殆どが日本語で発表される。
- 英語で論文を発表し、国際的認知度を高めようとする努力は見られる。しかし、その効果が大きいとはいえない。国際化=英語化というのは迷信だ？
- 中国研究なので、中国語で中国の雑誌で発表するのも意味がある。中国人の中国研究、在日中国人の中国研究と違う視点で、日本人の中国研究者は研究成果を中国語で発信する必要性を認識し、そのための努力をより一層払ってもよい。

## 最近の農村等調査より

- 上海市における外来人口と地元住民の就業、賃金、福祉に関する調査(2003年)
- 江西省、安徽省等中部地域における農家の人口と労働利用に関する調査(2008年2月)
- 貴州省、雲南省、甘肅省等西部地域における農家の人口構造、就業行動に関する調査(2006年～08年)
- 温州市出稼ぎ労働者の生活と就業に関する調査(2008年2月)
- 珠江デルタ九市における出稼ぎ労働者の就業等に関する調査(2008年7月)

## 最後に一言:実証研究の姿勢

- 没有调查就没有发言权。
- 知之为知之，不知为不知，是知也。  
    实事求是。
- 麻雀虽小，五脏俱全。
- 知其然，知其所以然。